

広報活動

神戸税関では、地域のイベント等に参加し、音楽隊の演奏や様々な広報活動を展開し、税関展や税関ホームページを通じて、税関の役割について認知度を深め、税関の仕事への理解・協力を求める活動を積極的に行っている。



平 15.7.19 第1回海フェスタに参加（7/19～7/26）
監視艇「こうべ」の見学会や海上保安部等と合同で不審船の取締りを想定した総合展示訓練、体験乗船を実施した。



平 17.6.9 春のトライやる・ウィーク（6/9～6/10）



平 26.11.10 秋のトライやる・ウィーク（11/10～11/11）

平成10年から兵庫県教育委員会のプログラムとして中学2年生を対象に、学校・家庭・地域が連携し、地域の職場やボランティア活動を体験することにより、豊かな感性や想像性を高め、生きる力を養うことを目的として実施している。毎年春と秋（6月・11月）に職場体験を希望する生徒を受け入れている。神戸税関では麻薬探知犬センターでの模擬訓練や監視艇による港内巡回など様々な職場体験を行っている。



平 28.7.18 「第32回神戸港ボート天国」に参加
監視艇「こうべ」を一般公開した。ボート天国は神戸港の再開発を念頭に港と街の一体化、親しみやすい港づくりに寄与することを目的とした海の日関連行事であり、平成22年から参加している。



平 17.11.10 市内中学校でキャリア教育を実施

平成17年4月から神戸市教育委員会が推進する神戸市キャリア教育に協力し、神戸市キャリア教育として中学校を対象に学校からの希望により税関の仕事について授業を実施しており、水際で密輸取締りに取り組む税関の業務紹介や薬物乱用の恐ろしさなどについて説明し、税関業務を広めるとともに青少年の不正薬物の乱用防止への取り組みを行っている。



平 22.1.15 市内中学校で出前授業を実施

広報活動



H9.7.20 神戸まつり「おまつりパレード」に初参加
「神戸税関開設 130 年」の横断幕の後、神戸税関長扮する兵庫運上所長官の兵庫奉行「柴田日向守剛中」、伊藤博文、初代税関長、歴代の税関制服に身を包んだ職員が続き、音楽隊など総勢 67 名が参加した。



平 28.8.24 サマースクールに参加した小学生の体験学習
神戸市立公民館が青少年健全育成事業の一環として開催したもので、小学生とその保護者 70 名を受け入れ、税関の役割について説明を行ったほか、広報展示室の案内、麻薬探知犬によるデモンストレーションを披露した。



H28.3.30 春休み親子で学ぶ税関教室を開催
税関業務体験を通じて税関の使命・役割を知ってもらい、また働くことの大切さを父母と一緒に体験し学んでもらうことを目的に実施している。



平 11.7.29 神戸税関返還紙幣展を開催 (7/29～8/3)
終戦後海外から引き揚げられた方々からお預かりした通貨・証券等について、年々、返還する件数が減少傾向にあることから、保管紙幣等の現物を展示することによって国民の関心を高めていただき、保管紙幣等の返還を促進するため開催したもの。



平 19.2.21 神戸税関展を開催 (2/21～2/25)
貿易秩序の維持と国民の暮らしを守る税関の姿を広く国民に知っていただくため、各地で税関展を開催している。会場には、真正・不正商品の展示を中心に、保管紙幣展、拳銃・覚せい剤等の密輸事例、模造麻薬、密輸手口の模型、税関相談コーナー等を設置している。



平 23.4.26 神戸税関展 密輸阻止－神戸税関密輸取締り最前線－を開催 (4/26～5/8)
安全安心な社会の構築するため港や空港で不正薬物等の取り締まる第一線の現場を写真パネルで紹介し、覚せい剤の密輸事件で使用されたスーツケース（二重底）のレプリカ等を展示した。

広報活動－音楽隊－

神戸税関音楽隊は、平成6年に結成から神戸まつりお祭りパレード、海フェスタ、かすたむすフェスタ、地方における各種イベントなど様々な活動に参加し税関の広報活動を行っている。



平 7.11.27 ホールコンサートで初演奏



平 8.4.12 神戸税関本関改築着工記念式



平 9.7.20 神戸まつり、おまつりパレード初参加



平 15.7.19 第1回海フェスタ



平 24.2.1 帆船「海王丸」の出港セレモニー



平 23.8.20 こうべ海の盆踊り 2011



平 24.10.30 クルーズ客船「ばしふいっく
びいなす」号の出港セレモニー



平 24.5.19 薬物・銃器密輸取締りキャンペーン、ふれあい中央カーニバル 2012 に参加



平 24.12.3 WCO 政策委員会に神戸税関と
大阪税関との合同音楽隊「Joint Customs
Band」が演奏